

ひびき灘

校訓

「明るく 清く たくましく」

平成30年5月7日発行



木の葉でアート
3年生の作品より

家庭訪問、大変お世話になりました。限られた時間で十分に話せなかった部分があったかもしれません。ご心配なことがあればいつでもご相談ください。

ゴールデンウイークはお子様と十分に触れ合いをもつ時間となったでしょうか。楽しかった休みも終わり、学校ではハローアメリカで学生さんたちと楽しい交流がもてるよう、本格的に準備を始めます。この時期、木々は色鮮やかに輝き、ぐんと成長します。子どもたちの木々に負けない成長を期待したいものです。

1年を24に分け、季節の節目を示す二十四節気。5月5日は「立夏」、21日は万物の成長する気が次第に天地に満ち始める「小満」です。「いつもならこれから夏に向けて」という季節ですが、今年はずでに真夏日を記録するような日が続いています。服の脱ぎ着による体温調節や水分補給をするよう児童に話しています。水筒の中身を少し多めにして持たせていただくとありがたいです。

5月は児童朝会でスタート

校長先生からのお話

5月は区切りよく、児童朝会からのスタート。校長先生から、昨年度新調した校旗を前にして、「伝統を引き継ぐ心」について話がありました。



話の冒頭で、創立111年記念の校旗を子どもたちに披露し紹介したあと、『これまでみなさんを見守ってくれた古い校旗は形を変え、これからも児童玄関でみなさんを見守ることになります。』と話されました。そして、

『たくさんの先輩からよい伝統を引き継いで、校長先生の前には、今、立派な子どもたちがいます。111年の日比小学校の素晴らしい伝統を守りさらによいものには、日々の努力とチャレンジが必要です。まさに日比小の新たなスローガン「ひび・夢チャレンジ」です。

新しい学年になって1ヶ月、「去年よりももっといい自分になろう」と努力している人がたくさん見られます。そして、「チャイムがなる前に席に着き、勉強に臨む姿勢」「一生懸命授業を聞く姿」「教室移動を静かに並んで行う様子」など4月から1ヶ月しか経っていませんが、どの学年も上級生が手本となって

確実に進化してます。「5月は、どんなことにチャレンジしてどんな進化を見せてくれるのでしょうか。」5月もがんばりましょう。」と話されました。

校長先生は話の途中で、「築き上げた素晴らしい伝統もほんの一瞬でなくなってしまうものです。」とも話されました。児童朝会後には、高学年を残して、「言葉や行動、日々の生活の中で低学年のよい見本となって学校を引っ張っていくのが高学年の役割。君たちがいい加減な行動をすれば、低学年はそれを『大丈夫だ』と勘違いし、同じ行動をしてしまいます。」と担任の先生から話がありました。がんばっている部分があればまだこれからという部分もあります。こうした話を聞いて、そして実践して子どもたちは大きくなります。この新しい校旗は、古き伝統のもとこれからを築いていく子どもたちの姿を象徴しているようにも見えます。真新しい校旗の輝きに負けないように、高学年を中心に112年目の日比小学校を作ってほしいと思います。

今月の目標

月目標「気持ちのよいあいさつをしよう」をについて、週番の先生からお話がありました。「あいさつ」にかけて、ただ返すだけのあいさつでなく、

- レベル① 「あかるく」：相手に目を向け、にっこり明るく
- レベル② 「いつでも」：いつでもどの場面でも
- レベル③ 「さきに」：相手より先に
- レベル④ 「つづけて」：大人になっても続けることができる

あいさつが大事と、4段階に分けて「あいさつの極意」を教えてくださいました。あいさつは「された」相手をいい気持ちにし、「した」自分も気持ちよくさせてくれます。

話の前に、週番の先生が各学年と交わした「おはようございます」のあいさつでは、4年生が一番いい声を出していたのでしょうか。また、下の学年になるほど、まとまりのある明るい声に聞こえました。小さい頃は自然と出せた声も、思春期に入ると声が小さくなったり、しなくなったりすることもあります。「あいさつは、人を気持ちよくさせるもの」。年齢に関係なく、「人として大切にしたいもの」として、子どもたちに根づかせたい習慣だと考えています。顔を合わせた時のあいさつの一言。ご家庭でも話題にさせていただけたらと思います。



5月の目標は「気持ちよいあいさつをしよう」です



高学年が日比小の顔
低学年のお手本となって
がんばっていきましょう

地域・保護者のみなさんに支えられて

5号でも写真で紹介しましたが、春になり今年も野菜名人さんにお世話になります。学校菜園に4月18日、2年生がトウモロコシやピーマンなどの夏野菜を植えました。昨年度末、今の3年生が植えたジャガイモは、4月になってやっと土から顔を出したかと思うとみるみる大きくなり、6年生の玉ねぎももうじき収穫できそうな生育ぶりです。玉ねぎは6年生の家庭科に使うことにしています。また、昨年はいのししにやられたサツマイモは、子どもの「作りたい」リクエストに応えて対策を練ってくださるそうです。

連休明けには、おさらい会とチャレ算がスタートします。下校指導には4月から新しく さんが参加してくださり、毎日子どもの様子を見守る体制が維持できそうです。保護者の皆様には、お手伝い表への多数のご参加ありがとうございます。おかげ様で、今年も児童の楽しく安全な活動を支える体制を整えることができます。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

学区探検にGO！

3年生になると生活科が理科、社会科に分かれ、少し内容が専門的になります。社会科では、最初、自分が住む町について学習します。目で見て確かめるために、学校から東西南北それぞれの方向に向かって探検に出かけます。4月20日には南方面の探検にでかけました。日比小から御崎八幡宮方面を目指して歩く途中、「どんな場所があるかな」と写真撮影をし、あとでワークシートにまとめます。注意しながら歩いてみると「こんな所に店がある」と新しい発見がいっぱい。生活する範囲を調べた後、玉野市に範囲を広げ勉強をします。秋の校外学習では市内見学を予定していますが1日で見え回るのは大変。路線バスを使って、別日にも見学ができればと考えています。自分たちが住む街の特徴や魅力を知り、玉野市が大好きになってくるといいなと思っています。



今年もお世話になります

みんな大好き 読み語り
じっと見つめる視線 見てください



ALTさんがやってきた

昨年から何度か紹介していますが、学習指導要領改訂により、平成32年度から3・4年生で外国語活動が導入され、5・6年生で外国語として教科化されます。学習時間が増えることで、これまでの「話す」に重点を置いた会話の学習から、高学年では単語を読んだり書いたりすることにも取り組みます。

日比小ではこれまでも外国語活動に力を入れてきましたが、32年の完全実施に向け、今年度3年生以上で外国語活動の時間を増やしました。また、英会話を意識し、ALT(アシスタント ラングエッジ ティチャー:外国語指導助手) 学習ボランティアさんにはいつていただいたり、スムーズに中学校の外国語につなげるために、6年生の授業に中学校の先生に参加いただいたりします。

今年もALTは 先生、ボランティアの先生は 先生、中学校からは 先生に来ていただきます。早速、5月1日にはALT先生に来ていただき、授業に入ってもらいました。授業を外から覗いてみましたが、子どもたちはとても楽しそうで、ALT先生の英語に続いて大きな声を教室中に響かせていました。

英語を日常で使えるようにするには、「英語に対する慣れ」と「物怖しない積極性」を子どもたちに育てることが大事です。25日にはハローアメリカがあります。他校にない、外国の方と英語でコミュニケーションを図るチャンスです。一歩踏み出す勇気もって参加してほしいと思います。



1年生:校歌練習中
元気な歌声が響きます
早く覚えようね



3年生:習字に挑戦中